

三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日：2024 年 11 月 5 日(火) 18:45~20:00

場 所：新橋駅前ビル 1 号館 6 階 605 号ダ・ヴィンチ大会議室 + Zoom ミーティング

出席者：

理 事：荒嶋、安藤、飯島、五十嵐、石原、臼田、内倉、尾山、加藤、坂口、庄野、鈴木、高木

顧 問：関根、平松

Zoom:

理 事：黒岩

監 事：小川

オブザーバー：藤村 (敬称略)

庄野理事の進行により、会議開始時点の参加人数(理事 18 人中 11 名出席)が定則を満たしていることから理事会の成立が確認され、飯島会長の挨拶の後、議事録作成に加藤理事、議事録署名に荒嶋理事を指名して下記議案につき審議した。

<審議事項>

1、2025 年度理事会日程について

飯島会長より 2025 年 3 月 12 日までは決まっており、新会長に就任する臼田理事のスケジュールと合わせ、5 月 14 日(水)、9 月 9 日(火)、11 月 11 日(火)に開催することを決定した。

2、2025 年レース日程について

荒嶋レース委員長より 2025 年度のレース日程が発表された。

リビエラ SHONAN レース共催の新春親善レースは 1 月 5 日(日) 他の SHONAN レースは基本第 2 日曜日、若大将カップは 11 月に予定。

またその他のレースは基本今年同様のスケジュールを予定していると報告があった。

その他、小網代カップ、KFR は決まっており、SYC 関連のレースも近日中に日程を発表するとの報告があった。

3、バードデザインのアイデンティティーについて

庄野理事より 10 月 1 日に配布された「MOSC のアイデンティティーとは？」というブログ集計結果から MOSC のアイデンティティーを確認した。

<結論としてバードのコンセプトは>

◇MOSC とは、我が国外洋レース界の歴史そのものである。

◇MOSC とは、旧 NORC の本流の後継者である。

◇MOSC とは、イギリスのセーリング文化を基礎とした外洋レースの運営団体であり、同好の士の集まりである。

◇キーワード=オフショア→インショアでもなく、ショートディスタンスでもない。

◇外洋ヨットの歴史の当事者であり、顔はいつでも外洋に向いている。

◇困難と対峙し乗り越える強い意思を持つ。

上記のアイデンティティーを大坪デザイン様に依頼し、その進行と交渉は飯島会長と庄野理事が担当することを確認した。またデザインの決定は理事会で一案に絞り総会で承認を得る方向など今後詰めていくことを確認した。

4、基金口座への預け替えについて

坂口事務局長より例年通り 1 人 1,000 円、計 234,000 円を基金口座へ振り替えることの承認要請があり、承認可決された。

<報告事項>

1、外洋団体長事務局長会議について

9 月 28 日に鹿児島で外洋団体長事務局長会議が開催され、飯島会長と坂口事務局長が参加した。内容は JSAF からの報告、各団体からの報告、JSAF の会員登録システム、艇登録システムの説明があった。

各団体からの報告として MOSC は関わっているレースが年間 15 レース以上と非常に多いことを報告した。他の団体はクラブ単位の運営が比較的上手くいっていること、地方団体はもともと主催レースが少ないとの情報共有があった。会長から、今後、レース委員会の人的な負担を減らすことがレースを継続していくためには必要であると問題点の提示があった。関根顧問から、SHONAN レースはもともと上下のレースのみ手伝うことになっていたのが全レースを手伝っている状態になっているので、今後見直しを含めて検討することが提案され、確認された。

坂口事務局長から、JSAF の新会員データシステムが来年 1 月から立ち上がる予定であると進捗の報告があった。

JSAF から IRC レースのルールについてヘッドセール枚数とレーティングについての説明があった。

今夏、外洋レース中に発生した信号誤発信を受け、第 3 管区海上保安庁からの要望で、外洋レース開催時、レース委員会はレース参加者で携帯用位置指示無線標識 (PLB) 所有者の MMSI 番号と連絡先を収集し、第 3 管区海上保安庁に任意として提出協力していくことを確認した。

2、関東四団体長事務局長会議について

レースオフィサーの講習と B 級ジャッジ講習を関東四団体、外洋東京湾主催で行う予定と報告があった。

3、関東四団体忘年会について

坂口事務局長より 12 月 4 日 (水) 横浜で開催されることが報告された。永年表彰としては MOSC からは Bitter End 鈴木保夫さんが対象となる。また会議後日 JSAF 定期表彰に「のんびりレース」の立ち上げ運営、日本初の ISPA クルーザースクール開校など多くのセーラーを育てた岡田豪三氏を推薦することが承認された。

4、小網代カップ/若大将カップ報告

小網代カップレースについて藤村実行委員長より 11 月 2 日～11 月 3 日に予定されていた小網代カップは 14 艇 95 名のエントリーがあったが荒天のためレース中止を決定したと報告があった。

若大将カップは荒嶋レース委員長から 10 月 27 日 (日) 20 艇がエントリーし微風のなか 6 艇のみフィニッシュでレースは成立したと報告があった。

5、その他

飯島会長より 10 月 27 日江ノ島ヨットクラブ 60 周年パーティーに出席したと報告があった。会場は横浜ニューグランドホテル、2 万円の会費制で盛大に開催されたとのこと。

以上で本日の議事をすべて終了し、20時00分に理事会を閉会した。

以上

2024年 月 日

議事録署名人